

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成29年4月～6月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				前期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				今期(平成29年4月～6月期)と比べた 来期(平成29年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	49.1	22.8	28.1	21.1	50.9	22.8	26.3	24.6	33.3	40.4	26.3	7.0
2 採算	28.1	50.9	21.1	7.0	31.6	49.1	19.3	12.3	28.6	53.6	17.9	10.7
3 仕入単価	20.4	77.8	1.9	18.5	13.0	87.0	0.0	13.0	20.4	74.1	5.6	14.8
4 従業員数					14.0	84.2	1.8	12.3	10.5	87.7	1.8	8.8
5 資金繰り					12.3	71.9	15.8	△ 3.5	10.5	84.2	5.3	5.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		26.3	50.9	22.8		3.5		29.8	56.1		14.0	15.8		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	10.7	8.9	44.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	14.3	10.7	7.1	32.1
2 大企業進出による競争激化	8.9	8.9	3.6	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	1.8	3.6	5.4
3 製品・商品単価の下落	1.8	8.9	8.9	19.6	10 事業資金の確保難	3.6	1.8	5.4	10.7
4 原材料高及び不足	5.4	3.6	5.4	14.3	11 需要の停滞	14.3	12.5	5.4	32.1
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	3.6	1.8	5.4	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	14.3	5.4	5.4	25.0	13 その他	3.6	3.6	1.8	8.9
7 人件費の増加	1.8	5.4	3.6	10.7	無回答	7.1	23.2	39.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成28年4月～6月期）と比べた 今期（平成29年4月～6月期）の状況				前期（平成29年1月～3月期）と比べた 今期（平成29年4月～6月期）の状況				今期（平成29年4月～6月期）と比べた 来期（平成29年7月～9月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5	87.5	△ 87.5	37.5	12.5	50.0	△ 12.5
2 採算	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0	25.0	75.0	△ 75.0	25.0	37.5	37.5	△ 12.5
3 仕入単価	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
4 従業員数					12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資金繰り					12.5	62.5	25.0	△ 12.5	25.0	62.5	12.5	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	12.5	62.5		△ 37.5		12.5	50.0		37.5	△ 25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	37.5	12.5	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	12.5	25.0	25.0	62.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	12.5	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	12.5	12.5	25.0	10 事業資金の確保難	12.5	0.0	0.0	12.5
4 原材料高及び不足	0.0	12.5	12.5	25.0	11 需要の停滞	37.5	0.0	0.0	37.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	12.5	0.0	12.5	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	12.5	12.5	25.0	13 その他	0.0	12.5	0.0	12.5
7 人件費の増加	0.0	0.0	25.0	25.0	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 地元行政・企業の受注が厳しいと感じる
- ・ 地元の消費が減少し続けている
- ・ 県外・海外へ販路を求める必要がある

- ・ 価格競争に巻き込まれないため、差別化が必要

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				前期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				今期(平成29年4月～6月期)と比べた 来期(平成29年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	38.9	27.8	33.3	5.6	55.6	16.7	27.8	27.8	16.7	33.3	50.0	△ 33.3
2 採 算	16.7	61.1	22.2	△ 5.6	22.2	61.1	16.7	△ 5.6	11.8	58.8	29.4	△ 17.6
3 仕 入 単 価	22.2	77.8	0.0	22.2	11.1	88.9	0.0	11.1	22.2	72.2	5.6	16.7
4 従 業 員 数					11.1	83.3	5.6	5.6	5.6	94.4	0.0	5.6
5 資 金 繰 り					16.7	66.7	16.7	0.0	5.6	88.9	5.6	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	44.4	33.3		△ 11.1		16.7	66.7		16.7	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	27.8	22.2	5.6	55.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	5.6	5.6	22.2
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	5.6	11.1	0.0	16.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.6	5.6
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	5.6	16.7	16.7	38.9	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	11.1	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	5.6	0.0	0.0	5.6	11 需 要 の 停 滞	22.2	11.1	5.6	38.9
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	5.6	5.6	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	5.6	0.0	16.7	13 そ の 他	0.0	0.0	5.6	5.6
7 人 件 費 の 増 加	0.0	5.6	0.0	5.6	無 回 答	11.1	22.2	38.9	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットで買う人が増えてきている ・ 日用品メインで、嗜好品まで手が回る人が少なくなっている ・ 酒税改正があったが影響は良くも悪くもなし ・ 客層を広げるためメール会員を増やすなどの努力をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 当店にしか作れない商品を増やし価格競争をしなくてよいようにしたい ・ インターネット販売の強化が必要 |
|---|---|

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				前期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				今期(平成29年4月～6月期)と比べた 来期(平成29年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.7	25.0	33.3	8.3	66.7	16.7	16.7	50.0	41.7	50.0	8.3	33.3
2 採 算	25.0	58.3	16.7	8.3	50.0	41.7	8.3	41.7	33.3	58.3	8.3	25.0
3 仕 入 単 価	50.0	41.7	8.3	41.7	41.7	58.3	0.0	41.7	50.0	41.7	8.3	41.7
4 従 業 員 数					16.7	83.3	0.0	16.7	8.3	91.7	0.0	8.3
5 資 金 繰 り					0.0	91.7	8.3	△ 8.3	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	50.0	16.7		16.7		33.3	50.0		16.7	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	9.1	0.0	9.1	18.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	27.3	9.1	9.1	45.5
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	9.1	18.2	0.0	27.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	9.1	0.0	9.1	18.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	18.2	9.1	18.2	45.5	11 需 要 の 停 滞	9.1	18.2	9.1	36.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	9.1	0.0	0.0	9.1	13 そ の 他	0.0	9.1	0.0	9.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	9.1	36.4	45.5	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 全体の景気が良くなると飲みに出る人が増えない
- ・ 春夏はメーカーのロゼワインの品ぞろえが良くなる
- ・ クラフトビールが人気

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				前期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				今期(平成29年4月～6月期)と比べた 来期(平成29年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	61.5	30.8	7.7	53.8	53.8	38.5	7.7	46.2	46.2	46.2	7.7	38.5
2 採算	38.5	53.8	7.7	30.8	38.5	61.5	0.0	38.5	46.2	46.2	7.7	38.5
3 仕入単価	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	92.3	0.0	7.7	7.7	84.6	7.7	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	15.4	76.9	7.7	7.7	15.4	84.6	0.0	15.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		30.8	69.2	0.0		30.8		46.2	53.8		0.0	46.2		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	23.1	7.7	15.4	46.2	8 設備店舗の狭小・老朽化	15.4	7.7	0.0	23.1
2 大企業進出による競争激化	15.4	7.7	7.7	30.8	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.7	7.7
3 製品・商品単価の下落	0.0	7.7	0.0	7.7	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	15.4	0.0	15.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	7.7	0.0	7.7	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	23.1	7.7	7.7	38.5	13 その他	15.4	0.0	0.0	15.4
7 人件費の増加	0.0	7.7	0.0	7.7	無回答	7.7	30.8	61.5	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 顧客・従業員の高齢化
- ・ 人手不足
- ・ 大企業の技術の進歩に個人レベルで立ち向かえない
- ・ 工事関係者の利用が増えた (宿泊業)

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				前期(平成29年1月～3月期)と比べた 今期(平成29年4月～6月期)の状況				今期(平成29年4月～6月期)と比べた 来期(平成29年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	66.7	16.7	16.7	50.0	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3
2 採算	33.3	33.3	33.3	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3
3 仕入単価	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数	/	/	/	/	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3
5 資金繰り	/	/	/	/	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	16.7	66.7	16.7	0.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	83.3	0.0		16.7		50.0	50.0		0.0	50.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	0.0	16.7	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	16.7	0.0	16.7
2 大企業進出による競争激化	16.7	0.0	0.0	16.7	9 取引条件の悪化	0.0	16.7	0.0	16.7
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	16.7	16.7	10 事業資金の確保難	0.0	16.7	0.0	16.7
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	16.7	16.7	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	33.3	0.0	16.7	50.0	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	16.7	16.7	0.0	33.3	無回答	0.0	16.7	33.3	—

注) 「全体」 = (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 大工の高齢化による体力面の問題
- ・ 人手不足
- ・ 公共工事の単価は上がらないのに人件費ばかり上がる